

今月の一笑

サラリーマンことわざ笑辞典
遠くて近きは男女の仲
⇒残業で近づく男女の仲
(所沢市/曾田英夫)

さあ、コートを脱いで、明るい日差しの中へ足を踏み出そう。
道すがら慎ましく咲き誇る紅梅・白梅を目にすると、平年よりは暖冬なのだと実感しましたが皆様の街は如何でしたでしょうか。

前月の『伝笑鳩』から一箇月と一週間経ちましての今号発行ですので、少し間延びしたかも知れませんが、その間は皆様を退屈させないように、貴花田の初場所の優勝やアルベールビル冬季五輪での日本勢の活躍、中でも橋本聖子さんのスピードスケート1500^分銅メダル、伊藤みどりさんのフィギュア銀メダル、ノルディック複合男子団体金メダル等を堪能していただくようになっておりましたので、ご容赦下さい。

予期していない許しがたい汚職や殺人もありました。

お互いを尊重し、助け合う世の中の実現に向けて明るいスマイルを提供するジョークサロンの必要性を痛感された方も多いかと存じます。応援をお願い申し上げます。

嬉しいことですが、昨年10月の例会から女性の例会参加が5名以上という華やかさが続いています。女性が増えると男性も活気づきまして、作品にも努力の跡が見られるようになって参りました。読者の皆様からも、「この所、作品が賑やかになりましたね。充実ですね」と言った便りも頂きます。時間・都合のつく方は例会も覗いて下さい。待っています。

さて、前置きが長くなりましたが、最近参加の女性お二人からのお便りから披露します。

♡金丸永子さん(1月の例会に初参加)

「サロンの“笑い”は高度なジョーク、ハイレベルなオチの数々……ビートたけし・久米宏さんの笑いを日常とする私には、新発見で一杯でした。まずは 笑い の初歩から復習しなくてはというのが実感です。(たけしさん、久米さんごめんなさい。決してけなしているのではありません)皆様今後ともよろしく願いいたします。 永子」

♡庄田智子さん(昨年11月・本年1月例会に参加)

「サロンの印象はとてもハイレベルで皆様熱心で、私のようなチョット頭の体操をと軽く考えていた者にはついていけるかどうか、とまどっています。

つたない作品でダジャレのような物ですが、書いてみました。

(A) 佐川急便=おサガワせしてます。

(B) 雲仙普賢岳=フキゲンで普賢岳かな。 智子」

上達の近道まずは誉めること どうもそのようですね。(変集鳥)

読者だより

1989年7月28日に発足しましたジョークサロンの会報でありますこの『伝笑鳩』は、サロン活動を新聞で知った百数十名の方々やサロンに参加する皆様が持ちかえって手渡しして戴く方々を合わせて二百人弱の読者の皆様に楽しんで頂いております（ことになっております）が、手渡しで受けて頂いた方から、郵送申込みが舞い込んで来るといふ、嬉しい事態に直面するようになりました。そんな新しい読者の方からのお便りから笑介させて頂きます。

△塚田七郎さん（石井志津夫さんのオジさんです）からは貴重な体験談です。

——— 金(か)の生(け)る木 ———

世間では、「金の生る木」があれば良いなどと言いますが、実はあるのです。それはヤル気（木）と根気（木）を接ぎ木して大地へ気（木）合込めしっかり植えるのです。（間違えて浮気（木）など接がない事）そして毎日汗水流し時にはナニ糞というコヤシをやって大切に育てるのです。そして泣虫とか弱虫などが付き易いので時々消毒もします。但し、バブル（泡）状のものは絶対避けて下さい。特に台風シーズンとなりますとキャサリン・マリリンモンロー型、最近では二号、三号台風には気を付けて下さい。昨年、青森のリンゴの様に根こそぎ倒される事もありますから、夜風・恋風などなるべく風通し良くし一生使えるつかえ棒など選ぶ必要もありますし、又絶対必要です。但し一本だけ。

以上の様に注意しながら愛情持って育てますと、やがてすくすくと伸び精華（正価）という花が咲き、その結果として身（実）が成ります。それ即ち「金の生る木」です。

皆様頑張って下さい。

先月に引き続いてお便りを頂きました。今後も先輩としてご指導を賜りたいと思います。

△藤野有樹さん（長井敏さんが1月号を差上げた方です）

「皆様のオモシロイ作品にすっかり感心致しました。次号よりご送付下さいます様お願い致します。小生も何か作れそうな気がします。出来次第投稿するつもりです。どうか皆様の仲間に加えていただきたく、宜しくお願い致します。」

△奥田博さん（ミニコミ紹介誌で『伝笑鳩』の存在を知り、お手紙を頂きました。参考に送付したのですが、早速返事が届きました）

「『伝笑鳩』No. 26, 27, 28 の3号を読ませて頂きました。こういう感じは大好きです。私もダジャレ大好き人間ですから。家内から『こんなにダジャレとオナラを飛ばす人だとは思ってもみなかった。いったいどこからそんなに出るの?』と言われていました。

『伝笑鳩』へも投稿したいとは思いますが、ダジャレを書き留める習慣がないので、当分は拝読だけさせて頂いて下さい。では、よろしく、お付き合いの程、お願い申し上げます」

△沼宮内春雄さん（青森県南津軽郡）からは激励の手紙を送って頂きました。

「いつも愉快な『伝笑鳩』を送付いただきありがとうございます。当地は年々地球規模の暖冬の影響が積雪が少なくいたって快適な生活を過ごしています。

皆様には、今後ともよろしくご高笑かつ楽しいジョークをご期待申し上げます」

大ぼらは楽し

豊田洋代

私は、冬になるとカシミヤのコートを着る。何故なら、今は貧しいからである。

大金持ちになったら、半てんを着て歩く。腹まきに大金をどんと入れて、それをさわりながら歩く。ヨレヨレのマフラーなんて首にまいて、鼻水をすすりあげる。道行く人の哀れみの視線を「フン、貧乏人どもめ」と、にらみ返して、ビビらせてやるのだ。

そのスタイルで行く所はもう決めている。銀座の服部時計店だ。ドアマンが、「あっち行け」と押ししたりしたら、そこで私は、腹まきの中の札たばを二・三個ぼらまきながら、ベツタリと倒れる。そこでいかにも嫌らしい手付きで、札たばを拾いあげて、つばを飛ばしながら数えたりする。

今は貧しいから、きれいな服を着てかっこつけて暮らしている。「お金の話なんてするもんじゃないわ、お下品よ」なんて、本心とはほど遠いことを言ったりする。

ああ大金持ちになりたい、なって意地悪婆さんをさんざんやりたい。遺産を残すという約束で近づいて来る連中を手こずらせてやりたい。そして、あの世に行った後、必死になって何千億という遺産をとりあって、大喧嘩している人間共にあっかんべえをしてやるのだ。残ったお金は、全部然るべき所に寄付しておくのだから。

でも、少しはお礼の意味もあるから一人あたり、五百円玉一個ずつくらいは、おひねりを残してやるか。

なんて、考える貧しい私である。

小田明子のクスリと笑う薬局コーナー

母親と薬局に立ち寄った小学校5・6年生くらいの女の子に薬を渡しながら、

「水無しで飲んでね。糖衣錠だから大丈夫よ」と言うのと、

その子はニッコリとしながら母親を見て

「わたし、十才以上（とおいじょう）だから飲めるの？」

と聞いていた。

職場で聞いたおかしな話 ①

金丸 永子

A夫：庶務課のF子さんで知ってる？ 彼女ミス総務部って言われてるらしいよ。

B子：彼女そんなに美人だったかしら？ 第一このごろちょっと太ってきたみたいじゃない。

C郎：そうだよな。それならB子は立派なミス営業だ。

A夫：ちがうちがう。ドジばかりやってる、ミスが多いってことだよ、mistake のミス。

B子：フッフ……なっとく！

C郎：かわいそうに。本人理解してるのかな。

— 1月例会参加 ——— 1月17日実施 ———

石井志津夫・印南博之・奥村篤史・小田明子・金丸永子・神山徹・庄田智子・曾田英夫・高木正明・豊田洋代・野本浩一・平田レイ子・門口泰宣・横山朝夫*下線の方は初参加
#金丸さんは故山下塾鳥の遺稿集「愛」の発行元である丸善に勤務されています。又ひとつ新たな出会いがありましたね。今後も宜しくお願い致します。

例会参加者苦勞に苦勞の持ち込み作品珠玉作一覧。

石井志津夫 の 「メッセ貝は黙っていないよ」

☆☆ セクハラ対策

男女別々に開催することにした。

— 忘年会・新年会幹事

☆☆ かわいい孫

祖母「久し振りに会ったので涙が出ちゃう」

母「目に入れても痛くないって言っていたのに」

奥村篤史 の 「この㊦題 (もんだい) が出来なきゃ㊦ (去る) べし」

㊦1 猿の中でも高貴な猿の呼び方

答 サルお方 (さるお方)

㊦2 ポスの座を降りて他の山へ行く猿の呼び方

答 サルお方 (去るお方)

㊦3 珍しいパンジーの花が好きな猿

答 チンパンジー (珍パンジー)

㊦4 大きな体の割に時速20 km位で走る猿

答 ゴリラ (五里だ)

高木正明 の 「カタカナ漢字変換お任せ下さい」

例会二回目の高木さんですが、カタカナ外来語を出来るだけその意味に近い漢字で表してみようと挑戦しています。今回の出来映えはどうでしょうか？

カラオケ ⇨ 歌樂於家、ホームレス ⇨ 放群巢、ウルグアイラウンド ⇨ 売具合乱度

ハイテク ⇨ 覇射手工、シンポジウム ⇨ 進歩辞生夢、コンビニエンス ⇨ 混備荷円守

印南博之 の 「折半いろは歌留多 卷之二」

〔わ〕 割鍋はリサイクル/チェルノブイリにとじふた

〔む〕 無理が通れば地価が上がる/金がもうかり道理引っ込む

〔お〕 鬼ころしてウサ晴らし/レオタードに金棒

神山南朝 の 「如是我聞」

★ 「ここんとこ暫くゴルバチョフさんの顔を見ないね」

「ウン、なんでも地下組織に入ったらしいよ」

★★娘「今度新宿で公演することになりましたので、ご声援お願いします」

父「分かった。任せとけ」

娘「ですから、ご声援お願いします」

父「……………何だ、五千円か」

平田レイ子 の 「ママと娘たち」 (本当はマンガつきですがまずは雰囲気だけ)
ママ「老後に丈夫で長生き出来るようにこれからヨガを習おうかな」
長女「一応老後は引き受けるけどー、あんまり体にいいことしないで欲しい」
次女「言えてる」

横山朝夫 の 「このナゾを解いてみよ」

Q. 新聞にのっている鳥は何だ？

A. キジ (記事)

曾田英夫 の 「サラリーマンことわざ笑辞典 (56, 57)」

釣り落とした魚は大きい ⇒ こわれた商談は大きい▷取り逃がしたポストは大きい、とも。

天井から目薬 ⇒ 天井からリゲイン ▷24時間戦える。

十で神童十五で才子二十過ぎれば平凡 (タダ) の人

⇒ 十で神童十五で才子会社入れれば平凡 (タダ) の人 ▷そのような人が多い。

時に会えばネズミもトラになる ⇒ 時に会えばマドギワも部長になる

▷「時に会えばチョンボも手柄になる」というのもある。「時に会えば曾田さんの投稿も新聞に載る (92.2.8朝日WB経済)」というのは変集鳥の実感です。

野本浩一 の 「笑行子 (しょうこうし)」

しながわ水族館の目玉は魚のトンネル。ガラスの大きな水槽の真下を入場者が歩くという趣向である。なかなかの迫力で、アカエイが泳ぐ姿を真下から眺めるのはこれまでに無い体験だった。で、歌を詠む。

しながわに最近人気の水族館 上は魚列で下は行列

皆様が様々なジャンルに挑戦しています。ご意見・ご批評もお寄せ下さい。

嫌臭亭小利幸 (平井幸雄) の 「猿知恵・猿真似」

このコーナーの最後は作品のみ参加の小利幸さんの申年に因んだ諺の紹介 (詳解) です。

『猿が仏を笑う』 [小利口の者が、深い知恵のある人の偉さが分からずに嘲り笑うこと。]

*私「小利幸」は、皆さんのジョーク作品には大笑いします。]

『猿の尻笑い』 [自分の欠点を省みず、他人の欠点ばかりを笑うこと。]

*私「小利幸」は、皆さんのジョーク「けつ作」を笑います。]

・・・去る知恵、去るマナーにならぬよう・・・ (おかたい平いたかお)

—お知らせ—

3月の例会は27日に行います。

会場は内神田社会教育会館 小集会室

〒101 千代田区内神田2-1-8 千代田区総合体育館7F

☎(03)3256-8447

切手・作品の送付は下記にお願い申し上げます。

〒158 世田谷区深沢7-5-13-305 ☎(03)5706-6492

野本浩一宅です。宜しくお願い致します。

伝笑鳩No.29

発行 1992.2.28

変集鳥 野本浩一

変集協力 曾田英夫/神山徹

小田明子/小野純江

横山朝夫/長井敏

発行所 同巢会ジョークサロン

1992年 2月

『伝笑鳩』30号記念特集号

読者メッセージ募集のお知らせ

同巢会ジョークサロン代表

(略称：ジョークサロン)

野本浩一・曾田英夫・神山徹

来月発行の『伝笑鳩』は、30号記念号になります。従来の6頁から8頁に増やして、読者の皆様の声を反映させて益々の繁栄を期したいと思います。

御手数ながら下記に御記入下さいまして、変集部あて、郵送下さいますようお願い申し上げます。可能な限り、皆様のメッセージを掲載する予定ですので、ご協力をお願いいたします。返信用封筒も何も用意してないので容易ではないかも知れませんが、14日頃を目途に郵送して下さい。

では、ヨーイ、井ではなくて、ヨーイ、ドン!

氏名		出来れば年齢	
<p>30号を祝す・・・</p> <p>その他、最近面白かった、楽しかった、笑ったこと・・・何でも・・・</p>			

送付先 〒158 東京都世田谷区深沢7-5-13-305 野本 浩一 宛